

## 編集後記

本号は、論文二編、研究ノート一編、報告三編、資料紹介三編を掲載しています。

井上論文は、横浜地域でも多く見られた相給村落の村政運営に関する分析、坂本・宮田論文は、朝光寺原式土器に関する朝光寺原・三殿台両遺跡を素材にした考察。高橋研究ノートは、大塚遺跡にあった住居数に関する新たな検討です。

白石・橋口報告は、弥生土器製作・使用実験の成果から日本列島における魚醬の起源を解明する試み、武井報告は、「縄文学の父」と呼ばれた考古学者山内清男の全業績を網羅、岸上報告は、横浜で最大の凧コレクションの中から武者絵に描かれた兜に注目した考察です。

神谷・吉崎資料紹介は、新たに発見された神奈川宿から金沢までの沿岸部図に関して、作成年代や作成意図を踏まえた紹介、小林紀子・横浜古文書を読む会の資料紹介は、昨年引き続き明治初年の金沢藩の監察日記の翻刻、小林光一郎資料紹介は、これも昨年引き続き都筑区川和町の中山恒三郎家の「営業簿」の翻刻、です。

本号の内容は、当館と当館に集う方々の多彩な活動の成果です。また本号から電子ジャーナルでの刊行になり、多くの方に読んでいただく環境が整いました。みなさまに広く活用いただければ幸いです。

(井上)

横浜市歴史博物館 紀要 第二十六号

二〇二二年三月 発行

編集 横浜市歴史博物館

横浜市都筑区中川中央一―一八―一

電話 〇四五―九一二―七七七七(代)

公益財団法人 横浜市ふるさと歴史財団

発行 株式会社佐藤印刷所

印刷 株式会社佐藤印刷所